

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和7年11月11日(火)				
開催時間	10:00~12:30				
開催場所	長崎県長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館				
主催者	地方議員研究会				
研修会等の名称	地方議員研究会				
講師等の氏名等	福岡県福津市議会前議長 江上隆行 氏				
内容・結果等	<p>&lt;一般質問・質疑の本質&gt;                  ~住民から「近くて遠い地方議会」から「近くて近い地方議会」へ~                  質問したいことを職員から止められたときどうしたらよいか                  地自法121条、議会の権限質問通告への介入があるとき:キチンと質問してよい。                  市長の「検討」の答弁の後に、以降の議会で改めて質問する。追っかけていくことが                  大事、「政務活動費」を使って視察研修したことを一般質問で示すことが」大事                  政務活動費を使って研修したことを公表する。                  ③「一般質問」の作り方:「持ち時間制」「総合時間制」がある。                  ④「自治日報」:質問の根拠や裏付けをとる。「地方財政計画」「危機管理資材書」を作る:                  「議会改革研究会における一般質問に関する要点:①議論の方向 ②議員の筋を通す。                  「選挙時期の変える」「解散事例」等 ①自治解散②特例法③解散の請求は簡単にできないように、                  歯止め策として挿入。議員立法:法律180号:特別多数議決(庁舎の位置等)、民生委員の適数:                  民生委員のなりて不足:97.7%・93.7%:補助員の設置:要件を緩和:市内での民生員から市外でもOK                  ⑤「市長はどんな町にしたいか、これでいいのか財政計画。」市長は「市民にどんな未来を約束するのか」。                  財政状態の実態を問う。                  「地方議会に与党・野党はあるのか」「先決処分に一言(地方議会止まらぬ空洞化)」                  コロナ下において緩んでいる。【法147条】                  下水道管特別調査35都道府県、劣化土木職員13%減小、道路橋梁の老朽化、料金収入減:                  暫定税率の廃止:軽油税も廃止減収                  マトメ:質問と質疑のルールでは、質疑は議案の疑問点を質すことであり、議会の会議規則の                  発言内容の制限がある。また質問においては、発言の主旨は議会における言論の自由は最大限保障されなければならない。                  民主的運営が求められる議会では言論の自由が尊重されるべきであるが、規則等における制約がある。                  この点を重視しなければならない。</p>				
上記活動に要した経費	経費の内容	支	払	先	金額(円)
	出席者負担金				0
	会費				0
	旅費				0
	宿泊費				0
	合計			別紙明細	0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和7年11月11日(火)		
開催時間	13:30~16:00		
開催場所	長崎県長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館		
主催者	地方議員研究会		
研修会等の名称	地方議員研究会		
講師等の氏名等	地方議員研究会事務局長 杉本康介 氏		
内容・結果等	<p>&lt;地方創生・人口問題の基礎&gt; 総合戦略(議決にするかどうか)1/12以上で条例                  2014年デジタル創生法、地方創生2.0 =基本姿勢・視点=(若者と女性)内閣参謀                  組織12月議会改革自治体が主体になる==できなかったこと:単独ではできないよね                  ・地方創生10年の取り組みと今後の推進方向:大きな流れを変えるには至っていない。成果:デジタルを活用した地方創生の加速化・深化に向けた取組が進んだ。                  ・反省すべき点:①人口減少を受け止めようでの対応の不足 ②若者や女性が地域から流出する要因へのリサーチの不足 ③関係課間の連携の不足 ④主体的に果たす役割:地域のステークホルダーの役割。地方創生に貢献。民主導が必要。                  (人をひきつける質の高いまちづくりの推進)                  ・人口ビジョン:現状との差を比べる。人口戦略や人口ビジョンを把握する。                  (何年間に何人減っている)内容をちゃんとしているのか(チェック)、目標が達成したかどうか=反省の結果を聞く:報告書にしたらどうか                  ・「定住促進」だけでは生き残れない自治体の戦略                  ・なぜ若者は出ていくのか?構造問題としての人口減:データ~就職、進学根拠を聞く                  ・ふるさと住民登録制度の創設:アプリを入れる。来年入れるか(まだ未定?)                  地方創生1.0と地方創生2.0とは何が違うのか。まちひとしごと創生法                  国の成長戦略とズレない地域の独自色とは                  地方財政計画:自治体への注意事項 自治体の仕事;主体的にする。                  総合戦略に書いている内容を見る。パラメーターが増えた。人口ビジョンと総合戦略を見る。プレコンセプション=pre(前もって)conception(妊娠・受胎)導入検討段階  <b>マトメ:</b>人口減少を真面に受け止める。人口が急激に減少している中で、今から庁舎を建てるのは無謀すぎるという話が出た。2040年までに自治体は半分の職員で頑張るといふ総務省の見解が出ている。庁舎とは何ぞや。今後はラインやネットでできる。庁舎が必ず必要ではない。公共施設の縮小や更新の縦割り。立地適正化計画が進んでいるのか。持続可能な財政計画ができる状況にあるのか。人口減少を正面から受け止め                  適応策を講じる必要がある。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	出席者負担金		0
	会費		0
	旅費		0
	宿泊費		0
	合計	別紙明細	0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和7年11月12日(水)			
開催時間	10:00~12:30			
開催場所	長崎県長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館			
主催者	地方議員研究会			
研修会等の名称	地方議員研究会			
講師等の氏名等	地方議員研究会事務局長 杉本康介 氏			
内容・結果等	<p>&lt;地方創生・人口問題の基礎②&gt;          ・骨太の方針2025のおさらい「経済財政運営と改革の基本方針2025」          第1章マクロ経済運営の基本的考え方          ・①賃上げ支援 ②地方創生2.0 ③高付加価値型観光の推進          ④農林水産業の構造転換による成長産業化及び食糧安全保障の確保          ⑤AI・半導体の研究開発・活用に向けた支援 ⑥防災DXの推進 ⑦宇宙政策          ⑧海洋政策 ⑨スタートアップ支援 ⑩防災体制の抜本的強化 ⑪防犯対策の強化          ⑫女性活躍・参画の推進          令和7年度「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」          RAIDA:嬉野市は4.1以下なのでさらに使う必要がある。活用する。デジタル実装          ・RESASを使ってみる ・RAIDA:内閣府地方創生推進室が提供          住民基本台帳による人口動態及び世帯数のポイント 1億2千4百万人          特別委員会又は人口戦略プロジェクトを作ることが重要。          嬉野市議会基本条例第8章          法第96条2項:議会が議決に付すべき事件(1)基本構想を定め又は改定すること          国政調査(2026):人口減少を本格的に取り組む必要          選ばれる街になるために議会からの政策提言のポイント:人口ビジョンの甘さを取り上げる⇒仕事を作る提案。雇用、企業、採用促進。広域化、協働、民間委託PFS推進          (内閣府)地方財政対策(子ども・若者のことが多い:トイレの洋式化:5年継続)          予算編成方針(嬉野市)          職員は首にできる  <b>マトメ:</b> 国政調査の結果が、来年度出る予定なので、人口減少の経過がわかる。市としては、人口減少に本格的に取り組む必要がある。「切れ目ない施策をしているので大丈夫」といえる余裕はない。移住による人口増は自治体間の人口移住の取り合いであり、自分の町が「選ばれる町になるか」自治体の施策の競争の時代である。</p>			
上記活動に要した経費	経費の内容	支払	先	金額(円)
	出席者負担金			0
	会費			0
	旅費			0
	宿泊費			0
	合計		別紙明細	0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和7年11月12日(水)		
開催時間	13:30~16:00		
開催場所	長崎県長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館		
主催者	地方議員研究会		
研修会等の名称	地方議員研究会		
講師等の氏名等	地方議員研究会事務局長 杉本康介 氏		
内容・結果等	<p>&lt;財政の基礎①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎から学ぶ自治体財政</li> </ul> <p>今年度は全国各地で財政危機宣言が続出:財政は急に悪くならないまさか、貯金を取り崩して事業をしてきていませんか?</p> <p>財政危機の予兆はどこに出てくるのか:例;北海道北見市財政危機 厳しい財政状況の中...118億円の新市庁舎に批判の声</p> <p>決算カード:収支は大丈夫?実質収支と実質単年度収支</p> <p>&lt;財政問題の基礎1-2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体のルール:赤字にならないこと(京都市、福井市では赤字が発生)</li> </ul> <p>☆明石市:子育てに使うが公共交通は減額する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算書決算書ではわからない財政課題 ・財政危機や破綻の予兆</li> </ul> <p>貯金の取崩しを毎年続けていると枯渇する:自分の町の基金の取崩し額を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会から指摘すべき昨今の課題</li> </ul> <p>○議会はチェックだけの機関ではない=事業の成果を聞く、細かく裂いて聞き続ける。</p> <p>○疑問点や問題点の洗い出し ・予算査定の着眼点 ○義務的経費か否か</p> <p>○予算編成方針と合致しているか ○住民の要望は多いのか</p> <p>○事業の財源はどうなっているのか ○積算根拠はどうなっているのか</p> <p>○事前に議会DX側に説明があった内容と合致しているのか</p> <p><b>マトメ:</b> 財政の問題は収入を増やすのも大事だが支出を減らすことに効果が絶大、交付税制度があるので、基本的には歳出削減が必須であるが、人口が減るのであれば、その時、役所体制はどのように明確にすべきである。公共施設は全国共通の問題であるが、当市は、公共施設整備に、基金の半額を使う。そのあとの市の運営をどのように持っていくかビジョンを描いておくべきである。基金については、運用の仕方を考慮すべきである(運用の仕方を総務省がアドバイスをしてくれる)。無駄な事業の廃止や前例踏襲の見直し等、議会からの提言で、行政の後押しをする。</p>		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 ( 円 )
	出席者負担金		0
	会費		40,000
	旅費		8,560
	宿泊費		9,885
	合 計		58,445